

令和4年10月21日

職員各位

八代市長 中村 博生

令和5年度予算の編成について

本市では、第2次八代市総合計画に掲げる「しあわせあふれるひと・もの交流拠点都市 やつしろ」を目指し、子どもから高齢者まで安全・安心に暮らせる魅力あるまちづくりを着実に進めており、最小の経費で最大の効果を生み出すため、限りある財源を重点的に投入し、5つの重点戦略を全力で推進しているところである。

また、最優先課題である令和2年7月豪雨からの創造的復興や新型コロナウイルス感染症対策のほか、不安定なウクライナ情勢の影響による原油・原材料価格の高騰や円安の進行に伴う物価高騰など、刻々と変化する社会情勢への柔軟な対応に加え、SDGsやデジタル化の推進をはじめとする八代の未来を切り拓くための施策にも積極的にチャレンジしていく必要がある。

一方で、限られた一般財源枠において、それらを実現していくためには、事務効率化や経費削減を実施したうえで、前例や組織の垣根にとらわれることなく、これまで以上に事業の選択と集中を意識して、スピード感を持って取り組まなければならない。

このような趣旨のもと、全職員一丸となり、誇るべきふるさと八代の未来のため、令和5年度予算編成に向けて、メリハリのある効率的な予算編成に取り組んでいただきたい。